

拠出金名：国際農業研究機関拠出金

国際機関等名	国際稲研究所 (英文名称・略称) International Rice Research Institute (IRRI)					
種別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	農林水産省技術会議事務局国際研究課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成17年度	36,362	340		1\$ =107円	(2005年) 100	100
平成16年度	37,381	339		1\$ =110円	(2004年) 100	100
平成15年度	36,308	298		1\$ =122円	(2003年) 100	100
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2005年度決算) (注2)		
	国名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 30,795千ドル		
1位	日本	340	100	当該年度の支出 33,885千ドル		
2位				次年度への繰越 -3,585千ドル		
3位				会計検査機関名		
4位						
5位						
上記の率及び順位は2006年のもの				(現在の構成員の出身国: )		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
<p>IRRIとは従来から(独)国際農林水産業研究センターの専門家が滞在して共同研究を実施しており、稲の病害虫の実体解明等の成果が生まれている。IRRIは世界の稲研究のセンター的な役割を果たしており、稲に関する研究蓄積を有する我が国と連携を密にすることにより、開発途上国の持続的農業の発展に貢献すると考えている。さらに、IRRIは世界の稲の遺伝子を保存しており、我が国の稲の品種改良においても重要な役割を果たしている。</p>						
<p>合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価</p>						
<p>現地スタッフの大幅削減や研究テーマの絞り込み、日本事務所の閉鎖に見られるような事務拠点の整理等、活動の合理化、機能強化のための取り組みが積極的に行われている。</p>						
邦人職員数 うち幹部以上	7人(注3) うち0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率		1001人 0.7%		
邦人職員が占めている幹部ポスト(注4)						
ポストの名称		職員氏名		備考		
(理事会議長)		大塚啓二郎		政策研究大学大学院教授)		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
<p>現在、理事会議長を邦人が勤めている。また、邦人研究者も多い。IRRIの主要ポストに対し、邦人の雇用に加え、様々な形態で邦人職員を派遣する等今後も積極的に邦人を送り込むために活動することとしている。</p>						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。

(注2) IRRI全体の収支で代用。

(注3) うち3名は我が国独立行政法人からの長期出張。